

2018

発行日 毎月1日 通算発行 382号

2



# 協会報

## 今月のトピックス

平成30年 (一社)石川県建設業協会 合同新年会の開催  
石川県総合建設業協同組合

石川県土木部だより

建設現場におけるICTの活用について

～建設産業の生産性向上に向けて～

石川県土木部監理課技術管理室



石川の工芸シリーズ①

石川県立美術館蔵

蓬萊之柵 <松田権六【明治29(1896)年-昭和61(1986)年】>

制作年 / 昭和19(1944)年 サイズ / 幅61.2cm x 奥行37.3cm x 高さ114cm 技法 / 蒔絵  
松竹梅と鶴亀という吉祥文を使って表現している。松と梅は扉の裏に配するが、竹は両扉と側面の網代編で代用される。鶴は20羽の真名鶴を卵殻・平文などで全面におくのに対して、亀は水中に在るとして描かれていない。古様にのっとり両面開きの扉を持つこの柵の制作にあたっては、第2次世界大戦の敗色の濃い中、遺作となることを覚悟してのぞんでおり、作者の持てる総てが注ぎ込まれている。(石川県立美術館ホームページより引用)

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# 今月のトピックス

## 平成30年 (一社)石川県建設業協会 合同新年会の開催 石川県総合建設業協同組合

平成30年(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合の合同新年会は1月15日(月)午後6時40分から金沢東急ホテルにおいて、石川県知事はじめ県選出の国会議員、県議会議員、国・県の建設業に關係する行政機関の長及び協会関係団体代表者等の来賓の他、協会員、組合員を合わせた215名の参加を得て開催された。

会は、吉光武志県建設業協会会長他4名の副会長による新年祝儀、ひがしの芸妓による「宝船」及びひがし、にし、主計町芸妓衆による「金沢風雅」の踊りの披露で幕開けされた。



芸妓衆による金沢風雅

祝賀会の冒頭、主催者を代表し吉光武志県建設業協会会長が挨拶に立ち「先般の7年ぶりという大雪で県内全域の建設業の皆さんは、昼夜を徹して除雪作業に従事し、県民の足の確保にご努力いただいたことに感謝申し上げます。新幹線の敦賀延伸も知事からは新年度は全県開業に向けた新たな整備を進めるとお聞きしており、今年は今後に向けて輝かしい1年になると期待を込めている。また、新年度の国の公共予算も6年連続の微増ということで、業界としても展望の持てる予算として安心している。」と述べた他、働き方改革では週休2日制のモデル工事の発注をいただき、業界としても課題を克服しながら若者に魅力ある産業となるよう努力していきたい。生産性の向上ではICT施工について国、県の指導をいただきながら生産性の向上なくして建設業の再生なしのスローガンのもと、新しい機械の導入や技術の習得に取り組んでまいりたいと挨拶。

続いて来賓祝辞では、馳 浩衆議院議員・佐々木 紀衆議院議員・山田修路参議院議員が挨拶を行ったのに続き、谷本正憲石川県知事は「新幹線の金沢開通に伴う各種施設の整備は東京オリンピックに間に合うよう急ピッチで整備を進めている。

また、新幹線の敦賀延伸では開業効果を現出できるようしっかりと基盤整備を行ってまいりたい。」と訴え、引き続き米澤賢司県議会議員、小俣 篤北陸地方整備局長がそれぞれに祝辞を述べた後、小倉 淳県協会副会長の乾杯の発声で和やかに歓談となり、最後は平櫻 保県協会副会長が中締め挨拶に立ち、本年3月石川県知事の任期満了に伴い実施される、知事選では、現職の谷本知事が圧倒的多数で当選することを祈念し、中締め代わりに代わり谷本県知事を交えた「がんばろう」三唱を行い閉会した。



吉光武志  
会長



谷本正憲  
石川県知事



馳 浩  
衆議院議員



佐々木 紀  
衆議院議員



山田修路  
参議院議員



米澤賢司  
石川県議会議員



小俣 篤  
北陸整備局長



小倉 淳  
副会長



平櫻 保  
副会長

## 石川県土木部だより

### 建設現場におけるICTの活用について ～建設産業の生産性向上に向けて～

石川県土木部監理課技術管理室

#### 1 はじめに

石川県では、日本海側で戦後唯一、人口が増加してきたものの、平成17年の国勢調査を境に減少に転じています。

こうした中、建設業では、就業者の減少や高齢化により、将来にわたる労働力不足が懸念されており、建設現場における生産性向上や、若者・女性など多様な人材が活躍できる環境づくりが極めて重要となっています。

このような課題の解決に向け、本県では、平成27年度から公共事業の建設現場において、ICT建設機械を用いたモデル工事を実施しており、その一端を紹介します。

#### 2 これまでの取り組み

平成27年度から加賀市の南加賀道路本線ルートで切土や法面整形工事を、平成28年度からは金沢市の犀川で施工箇所が目視できない水中掘削工事を対象に、ICT建設機械による施工を実施しています。これらの工事では、ICT建設機械の活用により1日当たりの施工量が2～3割程度向上するなど、施工の効率化と安全性の向上が図られることが確認されています。(図-1、2)



図-1 南加賀道路での法面整形



図-2 犀川での水中掘削

#### 3 今年度の取り組み

今年度は、これまでの取り組みを踏まえ、ICT建設機械を用いた工事の県内全域への普及を目指し、取り組みを進めています。

##### (1) 発注者指定型のモデル工事の拡大

県内全域への拡大

発注者指定型のモデル工事は、これまでの加賀・金沢に加え、のと里山海道4車線化事業などを対象に、能登でも展開し、県内全域で14件実施しています。(図-3)

対象工種の拡大

また、モデル工事の工種については、今年度から新たに、新設舗装の路盤工事も対象とし、ICTモーターグレーダーによる施工に取り組んでおり、能登町の小間生バイパスや、小松市の南加賀道路粟津ルートでモデル工事を実施し、施工の効率性や安全性の向上が図られることを確認しています。

(写真 - 1、図 - 3)



写真 - 1 小間生バイパスでの路盤工



図 - 3 モデル工事の実施箇所

(2) 施工者希望型工事と工事成績での加点制度の導入

さらには、意欲の高い企業にICT建設機械を活用する機会の拡大を図るため、従来の発注者指定型のモデル工事に加えて、今年度から、施工者からの申し出によりICT建設機械の使用を認める施工者希望型工事にも取り組んでおり、道路・河川工事で5件実施しているほか、指定型・希望型にかかわらず、ICT施工を実施した場合には工事成績で加点しています。

(3) 起工測量～施工・検査で3次元測量データの活用

こうした取り組みに加え、建設工事のより一層の効率化に向けて、ICT建設機械を用いた施工だけでなく、施工前の測量から施工、その後の検査まで、一連の作業で3次元データを活用するICT活用工事も、今年度から実施しています。

今年度は、のと里山海道4車線化工事のICT建設機械を用いた切土・盛土工事で、起伏のある現地の地形把握や工事施工後の検査の際の測量に、UAV（無人航空機）を用いた3次元測量を実施しており、その結果、従来と比べて現地測量の人員が約2割削減され、建設現場の生産性や安全性の向上が図られることを確認しています。(図 - 4)

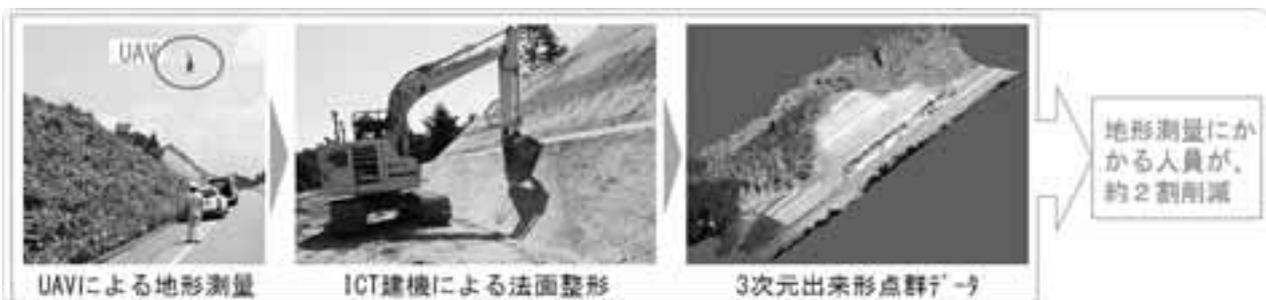


図 - 4 のと里山海道でのICTの活用

4 おわりに

本県では、引き続き、こうした取り組みを通して、建設事業のより一層の効率化を図るとともに、建設産業の生産性向上に努めていきます。

# 平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.1

施工企業名：株式会社江口組

工事名 南加賀道路（粟津ルート）  
地方道改築4類工事（改良工その8）

工事分野 道路工事

施工場所 小松市矢田町 地内

工事概要

施工延長 L=52.6m  
 補強土壁工(H=1.0m~3.0m) A=256㎡  
 排水構造物工 L=92m  
 下層路盤工 A=350㎡  
 壁高欄工 L=95m

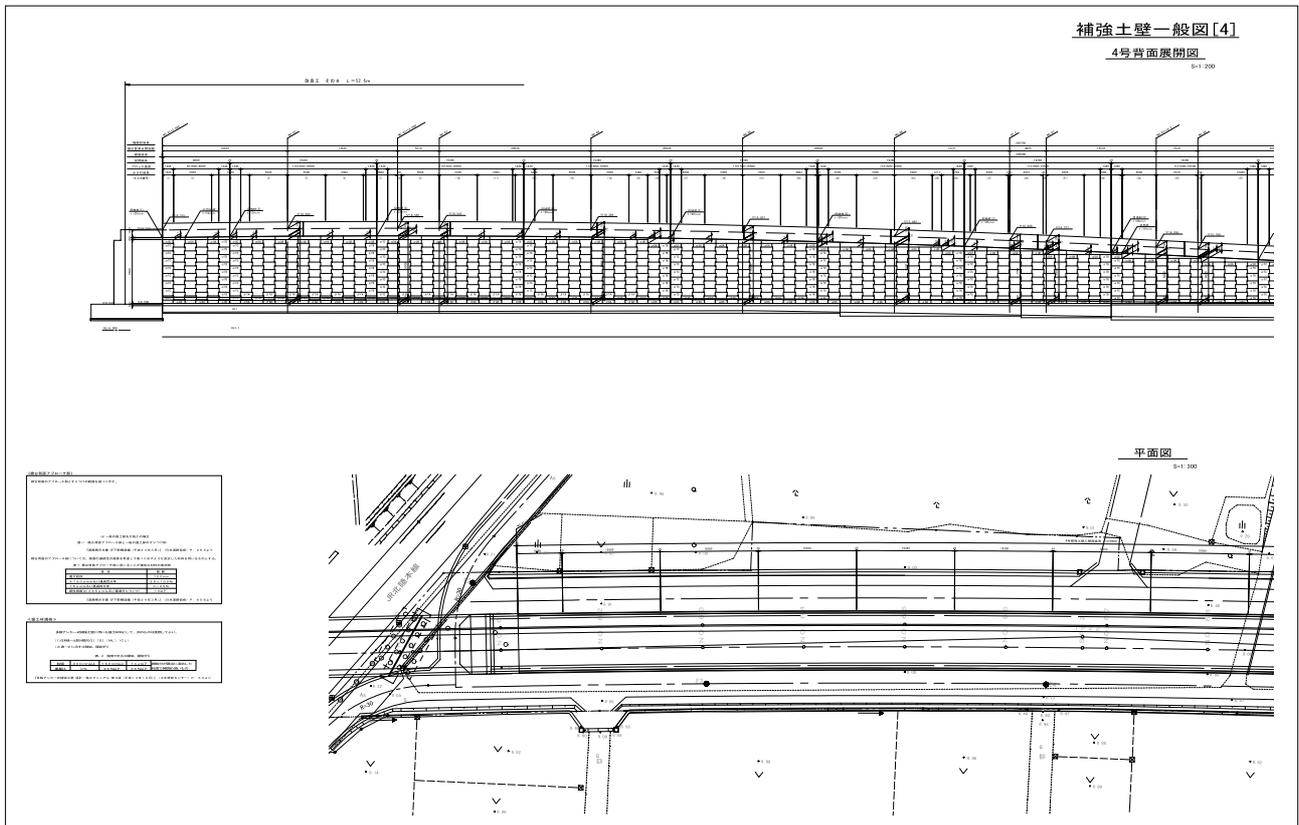


完成

工期 平成28年1月6日～平成28年7月29日

推薦理由

本工事はJR 跨線橋アプローチ部の補強土壁工を構築する工事であり、施工に当たっては、壁面材の鉛直度調査に風等の影響を受けないレーザー式下振りや自動追従が可能な携帯端末を用いた出来形計測管理を行うことで施工精度の向上を図った。また、狭隘な施工区域に関連工事が輻輳したが、隣接工区を含めた工程表を作成することにより相互の工程調整を円滑に行い、事故無く工事を完成し、見学会等を積極的に行い他の模範となる工事であった。



4号 補強土壁一般図



足場壁つなぎの工夫



壁高欄非破壊試験



壁面ノンプリズムトータルステーションによる変位測定



フライアッシュコンクリート現場見学会説明状況



フライアッシュと高炉スラグ微粉末（現場見学会）



子供見学会の様子

現場代理人のコメント



現場代理人  
松田秀樹氏

この度、知事表彰を受賞いたしました事は発注者及び関係者のご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。

南加賀道路は北陸自動車道小松ICから片山津、山代を経て加賀ICを結ぶ本線ルートと粟津方面へ至る粟津ルートから成るアクセス向上と地域振興を図る上で重要な路線であります。当現場はJR北陸本線に近接する橋台までの施工でありました。多数の工事が輻輳する中での工事でありましたが、毎週開催される工事連絡会等において工程調整及び安全施工に努めてまいりました。

工事中においては壁面の変位測定の実施、足場が10mを超える高さとなるが、壁つなぎを考慮しない構造物であったため、隙間を利用した壁つなぎ部材の考案と作成、路体盛土の風による飛散防止、非破壊試験（衝撃弾性波試験）によるコンクリート強度の推定等、工夫しております。

フライアッシュコンクリート普及に貢献する為、実際に使用しその施工の様子と、北陸電力からの解説等を含め現場見学会として実施しております。また夏休み中に小学生を対象とした子供見学会を実施し将来の担い手確保にも貢献できるよう実施いたしました。

昨年に引き続き受賞できました事、無事故で完成できた事を関係者皆様に深く感謝しております。

## 雇用改善コーナー

### 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施について

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、昨年度より若年労働者の人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に内定し、学校長の推薦のある生徒を表彰している。

本年度は下記の3名に対し表彰を行うこととした。



学校名	石川県立小松工業高等学校 (建設科)	石川県立翠星高等学校 (総合グリーン科学科)	石川県立羽咋工業高等学校 (建設造形科 建築コース)
氏名(性別)	水口流稀(男)	山口勇樹(男)	宮本直輝(男)
住所地	小松市	野々市市	羽咋郡宝達志水町
就職内定企業	株式会社丸西組	沢田工業株式会社	真柄建設株式会社

### 平成29年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施について

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、県協会の会員企業等に就職が内定している県内の工業系・普通科高校生等対象に毎年2月、社会人としてのマナー・技能資格取得を目的として、富士教育訓練センターへの派遣事業を実施している。

本年度も昨年度同様に、「就職前準備研修」2日間、「技能講習」6日間とし、2月10日(土)から17日(土)までの7泊8日の日程で、下記参加者20名にて派遣事業を実施することとした。また、上記期間中は事務局が引率する。

学校名・企業名	参加者名( は女性)			
金沢市立工業高等学校	網 美雨菜	池下 魁人	鋤崎 竜也	南 龍斗
	井口ひなた	井駒 潤也	中杉 光稀	
石川県立小松工業高等学校	水口 流稀	伴 陽希	中野 拓真	徳田 大輝
	天野 美麗	高輪 圭太	酒井 夢大	
	北市 史弥	岩住 薫	森山 敦紀	
小松大谷高等学校	森中 勇樹			
大三建設株式会社	谷川 友崇			

## 金沢市立工業高等学校のインターンシップ感想文(1)

現場に出て学んだことは確実に心に残りました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 小村隆斗  
(受入れ企業 みづほ工業株式会社)

今回の就業体験で私は、様々なことを学びました。

学校の実習ではしたことのない墨付けの仕方や養生の方法、型枠の解体などを学ぶことができ、大変良い体験ができました。実習中は挨拶や返事を意識してするようにしていましたが、会社の方々も朝礼や昼礼でその日の日程や作業の確認をすることで作業効率も上がり和やかな雰囲気で作業していたので日頃のコミュニケーションは大切だと思いました。

型枠の解体作業中に手を切ったり、釘を抜くときに釘を折ったりなどミスもしました。これらのミスは私が作業に慣れて油断したミスです。このようなミスが続くと大きな事故にもつながりかねないので、これからは、この程度の作業と油断したりせずに学校の実習でも気をつけてしていきたいと思いました。

今回の就業体験のように実際に現場に出て学んだことは、学校で話を聞くよりも確実に心に残りました。それに現場で作業している方々は、授業で教わった杭打ちや、水とセメントの配合の比率の説明を熱心してくれたので学校で学ぶことは確かに意味があると分かりました。

私は元々、建築方面への就職希望でしたが、この方々のおかげでさらに強くそう思うようになりました。この思いをしっかりと持ち、これからの学校生活も頑張っていきたいと思います。

5日間本当に有難うございました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 青木成斗  
(受入れ企業 みづほ工業株式会社)

7月24日から7月28日までの5日間、私はみづほ工業さんで、就業体験を行いました。就業体験を通して感じた事は、大きく3つあります。

まず、一つ目はお客様から信頼されることの大切さです。お客様に信頼されるためにCS活動というものを行っていました。CS活動とは、顧客満足度といいお客様に満足していただくために、部材の保護、トイレの掃除、窓台に飲み物を置かないなどの取り組みがされていました。お客様がいつ来ても真剣に家を建てていると、感じられると思いました。満足していただくことにより、お客様から信頼して頂き、良い関係を築けると思いました。

2つ目は、コミュニケーションの大切さを知りました。監督さんがこまめに、職人さん達に体調を聞いていました。コミュニケーションをとることにより、作業効率の上昇、怪我や熱中症の軽減に繋がると思いました。

3つ目は、私たちに対するの優しさ気遣いを感じました。周りの職人さん達よりもこまめに水分補給の声掛けや、休憩をとってくれました。また、レベルを見ている時にはしっかり据え付けできているか確認していただいたり、読み間違えた時には正しく読めるコツを、教えていただき自分もそんな風になりたいと思いました。

この就業体験を通して、初めての経験がほとんどで、たくさん迷惑をかけてしまいました。しかし、優しく声をかけられてとても嬉しかったです。この機会を与えてくれたみづほ工業のみなさんに感謝してこれからの進路に生かしていきたいと思いました。5日間本当に有難うございました。



働くということは私が思っている以上に大変だとわかりました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 池上景偉  
(受入れ企業 北川ヒューテック株式会社)

私は、北川ヒューテック株式会社さんの下で、就業体験をさせていただきました。その中でたくさんの事を経験し、学びました。

まず、始業時間が早く朝礼がきびきびと行われていることに驚きました。作業時間の確保、作業内容の確認、安全面の確認をすることにより、安全で効率的に建物を完成させるためには、大切なことだとわかりました。

次に現場監督という仕事は私が想像していたものより、何倍も大変な仕事だという事です。私が想像していた現場監督という仕事は、建物の完成図を見て職人さん達に指示をだす、というようなものでした。しかし、実際の現場監督の仕事を拝見して、驚きました。特に施工図などがかかれてある分厚い書類の中身をすべて理解しなければいけないという事です。私たちも見せてもらい説明していただきましたが、少ししか理解できませんでした。このようなことから、一人前の現場監督になるには何年も経験を積み、勉強しなければいけないのだと思いました。

また、人と人との繋がりや、コミュニケーション能力がとても大切だという事がわかりました。実際に私がお邪魔した現場では、職人さんや協力会社さん達の仲が良く、とても話やすそうでした。

これらの経験したことを今後の生活や、人生に活かしていこうと思いました。それと同時に働くということは私が思っている以上に大変なことだということがわかりました。

この実習で将来は施工管理の道をいきたいと思いました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 生地 萌  
(受入れ企業 橋建設株式会社)

私は最初、インターンシップを受ける前は施工がどういうものかわからず、細かい作業が好きなので将来は設計士になろうと思っていました。

インターンシップが始まり、初日に面接の練習をさせてもらい、アドバイスを頂きとても為になりました。他にも、建設会社の役目を教えてもらい、建設会社が建築物を建てるうえでどれだけ大切なものか知ることができました。橋建設が今まで建ててきた建築物を見て回った時、よく私が通っていた建物も橋建設が建てた建築物で、とても驚きました。

また、橋建設が受け持っている現場にお邪魔させて頂き、測量や現場のお仕事のお手伝いや現場の職人さんや、建築物の見学をさせて頂きました。足場をはじめて上がらせてもらったときは、高くて怖い気持ちも有りましたが、とても景色も綺麗で楽しかったです。他にも、コンクリートをドリルで砕いたり、鉄筋を結束線で止めるなど、初めての経験をさせて頂いて、インターンシップに参加してよかったなと思いました。測量では、トランシットの据え付けを分かりやすく教えて頂き、今までよりとても早く据え付けができ、とても嬉しかったです。

現場では体験だけでなく施工管理の方々がどういった仕事をしているのかを教えて頂きました。初めの印象は、現場でずっと職人さんに指示をしているイメージでしたが、施工管理の仕事は、それだけでなく建てている建築物の報告書を作ったり、施工管理計画書や、他にも沢山の資料を作らなくてはならなく会議などもあり、とても施工管理の仕事の印象が変わりました。

私は、この5日間で、建設会社が建築物を建てていく上で大切な役割であることや、施工管理の人たちの仕事はどういうものかを知ることができました。初めは細かい作業が好きで将来は設計士になりたいなと思っていましたが、細かい作業が好きという以外にも体を動かすことが好きで施工管理は資料製作などの細かい作業もあれば、現場に出て作業する、体を動かす作業も有りとてもやりがいの有る仕事だなと思いました。私も将来は施工管理の道に行きたいなと思いました。

## 地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成29年度第3回より～

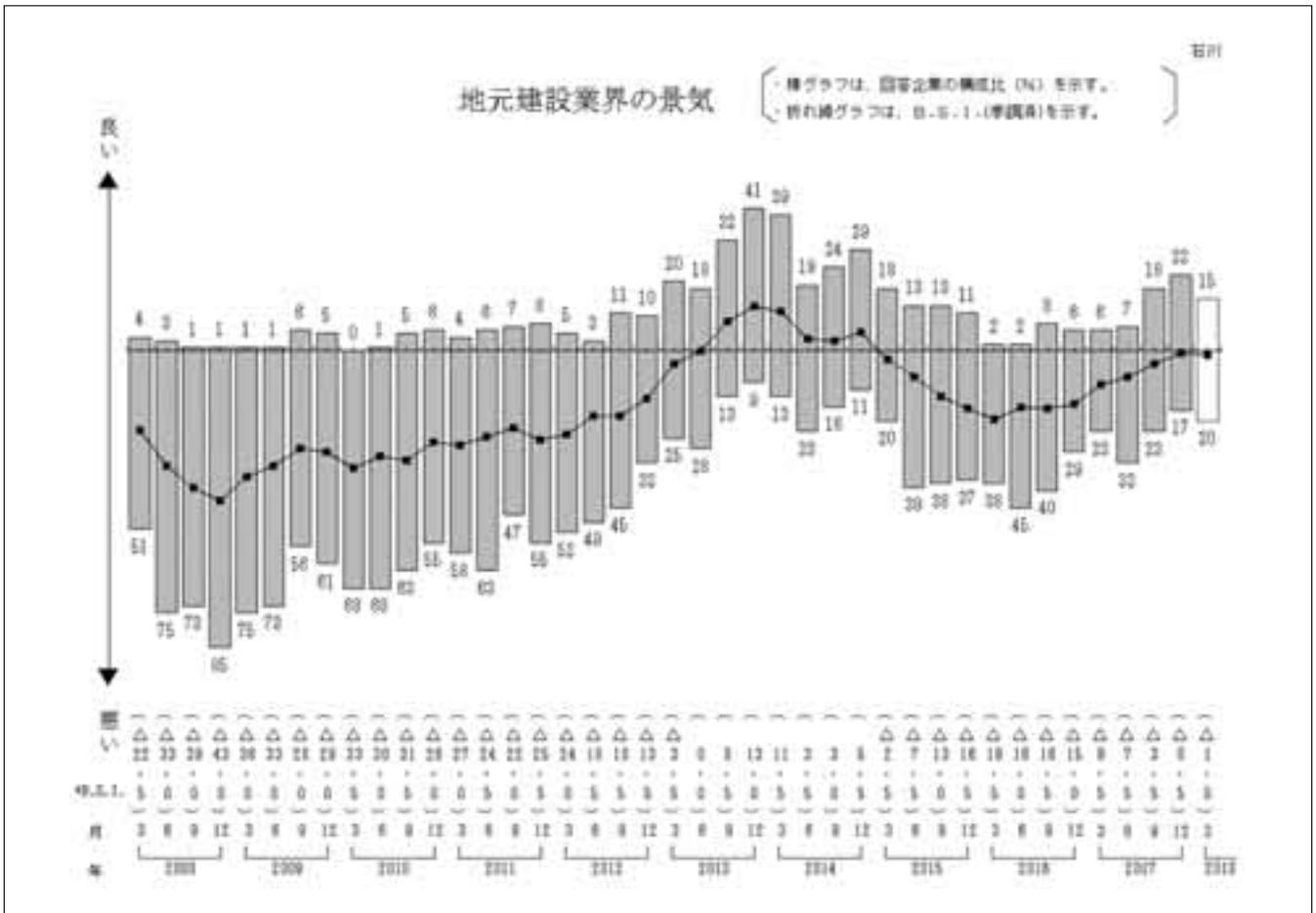
東日本建設業保証(株) 石川支店

<b>今 期</b>	<b>悪い傾向がやや弱まっている。</b>
	「良い」の回答企業の構成比が「悪い」を上回り、22%となっている。 B.S.I.では 0.5 (前期 3.5) となっており、悪い傾向がやや弱まっている。

「今期」:平成29年10月～12月 実績

<b>来 期</b>	<b>悪い傾向が続く見通し。</b>
	「悪い」の回答企業の構成比が「良い」を上回り、20%となっている。 B.S.I.では 1.0 (今期 0.5) となっており、悪い傾向が続く見通し。

「来期」:平成30年1月～3月 見通し



### 【B.S.I.の見方】

「B.S.I.」は、企業の意識調査の結果を数値化したものです。

すべての企業が「良い」と見ているときは50、その逆はマイナス50、すべてが「変わらず」と回答したときは0になります。

## 地区協会コーナー

### ～ 公共用残土の「適正処理と有効利用」を推進して～ 津幡町「興津残土処理場」の厳しい土量確保より 河北都市土建協同組合

「河北都市土建協同組合」とほぼ同メンバーで構成される姉妹組合の「河北都市環境整備事業協同組合」の「公共用残土処理事業」にあつては、25年前に、「公共発生土の不法投棄等」の問題が発生されたことから、当時の石川県土木部より要望を受けて「旧河北郡五町の助成金」を取付けながら、平成4年の「全国育樹祭開催」にあたり、会場となる「森林公園地内の駐車場造成を名目」として、県有地借地による「公共用残土処理場(御館山処理場)」を開設することとなりました。よつて、「初めての残土処理事業」を手掛けるとともに、「河北都市土建協同組合」を母体とした「河北都市環境整備事業協同組合」を企業努力で発足



及び事業継承してきた経緯があります。組合の発足以来、一貫して、「地元に着した地域貢献」を理念として、公共用建設残土の「法的根拠に基づく適正処理」と「資源(土砂)の有効活用」の目的から、25年間では、「河北郡津幡町内で8箇所」の地区に於いて、「行政当局の手厚いご支援」及び「地元の深いご理解とご協力」に支えられて、常に「マニュアルの無い手探り手法」ながら、今日までほそそと事業継承して参りました「中小企業等協同組合法に基づく共同事業」であります。しかしながら、現在平成28年1月から開設した第8番目の「興津処理場」につきましては、「河北郡津幡町興津地区」に於いて「地元主体の畑地造成の基盤づくりを環境組合が業務委託」で進めて丸2年が経過致しますが、その受入れ土砂が当初計画量の約50%程度にとどまり、想定外に極端に少なく、設立以来、25年間で一番厳しい運営危機に瀕しております。

そもそも、当組合事業は、「吉倉泥岩層」と呼ばれる津幡地区の「ネバ土」が「自由処分が当たり前」とされてきた慣習の中で、「自衛手段」として「必要に迫られて」微力な灯で継承してきた事業であります。「企業努力一点張りの方式」では事業として経営が行き詰まる事が浮き彫りとされた訳ですので、どうか少しでも「興津処理場」をご活用頂きますよう、やり場の無いお手持土砂の情報等を頂きますよう、「石川県全域からの皆様方」(石川県全域からの土砂を受入れさせて頂いております。)による土量確保に係る何分のご支援を賜りたく、ここに興津処理場のご案内方、心よりお願い申し上げます。

#### 興津残土処理場(河北郡津幡町)

受入所在地 河北郡津幡町字興津キ29番地外  
 受入基準 建設副産物中の土砂(石川県全域)  
 受入地容量 103,058m<sup>3</sup>(h28.1~h34.12計画)  
 受入単価 要 ご相談に応じさせていただきます。  
 申請者 河北都市環境整備事業協同組合  
 代表理事 麿香敏信  
 連絡先 (076)288-3955 事務局まで  
 ほんの少しの土砂情報でもお待ちしております。



## 会員リレーコーナー

171 邦和建設株式会社

(所在地：金沢市福増町北204番地10)



社章

当社の創業は、昭和63年8月に創業者（現・代表取締役会長）である中林 洋が金沢市中屋町にて土木工事業・運輸業として設立しました。3年後の平成3年4月には運輸部門を分離し(株)邦和物流を設立し、平成5年4月に現在の金沢市福増町北（現・安原工業団地内）に移転しました。

土木工事を主体とし、常にお客様の要求事項に応え信頼と満足を得ることを念頭に公共工事・民間工事を数多く完成させてまいりました。私も入社当時から現場監督見習いの傍ら作業員の仕事をやってみることが大事で一人前の監督になる一番の近道と思い、スコップの使い方から始まり、型枠工・鉄筋工・コンクリート工・矢板打ちなどのいろいろな工種を先輩に教わりながら、叱られながら、失敗もしながらではありましたが実際に自分の手で施工して気持ちの良い汗を流していたことを思い出します。

当社の社員は皆、仕事に対する達成感と充実感を求めて日々奮闘しています。

### 当社の経営理念は

- 一、私達は、人命尊重のもと一致協力して安全第一を目指します。
- 一、私達は、お客様の満足が得られるものを目指します。
- 一、私達は、技術力で地域社会への貢献を目指します。
- 一、私達は、健康で明るい職場環境を目指します。
- 一、私達は、和の心を持って夢と希望のある企業を目指します。

と掲げており、毎月1回全員参加で開催している



社屋

安全衛生協議会（全体会議）にて社員全員で唱和し、意識の向上に努めております。私は2年前に先代から社長業と経営理念を引き継いでおります。

社員の健康は企業の源という思いから一昨年より金沢城リレーマラソンにも20～60代の社員が参加し、余裕で走る者、楽しんで走る者、なんとか走る者といろいろですが、チームワークで完走して終了後の慰労会で楽しく親睦を深めて会社組織としての一体感の醸成を図っています。

“いつも体当たり！”この気持ちで当社も今年創業30周年を迎えます。社員旅行の行き先は現在検討中ですが全員で盛り上がり、リフレッシュとモチベーションアップに繋がりたいと思います。

元気があると言われる会社の平均年齢は36～39歳だそうです。当社も担い手不足の問題を抱えているのは事実です。1人でも多くの若者が建設業に魅力を感じるような環境づくりに協会の皆様と共に努力していきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

最後になりますが、石川県は海と山に囲まれた自然豊かな地です。当社はその石川県に生まれ自然と人との共存を目指し、人々の明日につながる仕事をしてきました。いつも見慣れた街の風景の中に私達が手掛けた数々の土木工事があります。

『より快適に、より気持ちよく』をモットーに！これからも社員とその家族の幸福な生活の実現と若者、子供、孫にも土木工事の魅力・技術を脈々と熱く伝えていけるような企業を目指し努めてまいります。

今回は毎田建設(株)代表取締役 毎田 健さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(邦和建設株式会社 代表取締役社長 嶋島信太郎)

# 今月の「輝き！」さん

No. 35



## 北興建設 株式会社 大墨貴史さん

業 種：土木技師  
 経験年数：14年  
 年 齢：36歳

事中は招集があっても部署を離れることができませんが、休日や夜間であれば招集に応じ現場に出動します。また平素の消防訓練は肉体的には過酷で楽ではありませんが、地域を守るといった気概で頑張っています。金沢の自治消防は「加賀火消し」という古い伝統に裏打ちされた集団であり、また人の生命や財産を守る崇高なボランティアなのですが、「金もらってやってる」「酒飲みの集まり」などと心無い評価も多く、今いち一般の方との認識の違いに寂しさを感じることもあります。

- 土木技師としての経歴や、やりがいについて聞かせてください。  
 私が27歳の時一級の土木施工管理技士の資格を取り、以後現場を任せられ、河川工事、橋脚工事、下水道管理設工事など多くの現場を手がけました。  
 中でも大浦町地内での海側環状道路の高架橋工事は、大きな工事で私の思惑通り仕上がったときは感激でした。また、送水管の工事では発注者である県土木から表彰を受けた時は、努力が認められたことにやりがいを感じました。技術者としては、さらに上位の表彰を目標としたいのですが、当社の得意とする送水管等の推進工事は地中に埋設してしまうため、出来栄が一望できず評価されにくい欠点があり残念です。発注者に工事の出来栄をアピールするノウハウについて研究することも大切と考えています。
- 就職氷河期の入社で同年代の仲間も少なく大変だったと思いませんか？  
 会社では私の直属の先輩が3歳上で後輩となると9歳年下で年齢的に孤立した感じがありますが、私はざっくりばらんに誰でも話せる性格です。上司であろうが社長や会長であっても部屋に入っていって話をします。極端に言えば、「かあちゃんと喧嘩中」の話題まで話をし発散するタイプで、ストレスや疎外感はなくありません。
- あなたのご家族についてご紹介ください。  
 妻とは私が26歳の時結婚し、現在子供が二人います。長男は9歳で小学校3年生、長女は5歳で年中組です。妻は育児を兼ねパートとして働いています。  
 私は消防団活動等で家を空けることが多くあまり育児協力は出来ませんが、そんな私を妻が良く理解し協力してもらっており、ありがたく思っています。

磨かれた原石が光沢を放ち始めているような技術屋さんでした。  
 地域の守り神である消防団活動については、他人事とせず地域ぐるみでその評価向上に努める必要性を感じました。

金沢市打木町の北興建設(株)の事務所に今月の輝きさんの大墨貴史さんを訪ねました。

- まずはあなたの勤務する会社について教えてください。  
 私の会社は土木工事一式を請負う建設会社です。社長は井戸谷信一(50歳)で、協会活動や地域活動に積極的に取り組んでおられます。会社の従業員は40名位で、総務、営業、工事に分かれ、私は工事に所属し、現場監督をしています。会社は、土木分野でも送水管等を地中に埋設する推進工事を得意としています。

- あなたの経歴やこの会社に入社したいきさつ等をお聞かせください。  
 私の出身は金沢市法島町です。校下の小中学校を卒業し金沢市内の高校を経て金沢工業大学に進み、大学では土木工学科を専攻しました。土木の専攻にあたっては、明確な目的があった訳ではなく、土木なら将来的になくなる仕事ではない。また、卒業後は地元で就職できれば良いといった感覚で専攻しました。大学では卒業を控え就活を始めた平成16年ごろは就職氷河期で、土木関係の仕事でも、県外を除いては地元での求人はなく困っていた時、実家の近所に居た土木関係の方から、現在の会社を紹介され、そのついでこの会社に入社した次第です。

- 現在校下の消防団員として活動しておられると聞きましたか？

私が30歳の時社長から頼まれ、私の住所地の西南部校下の消防団に入団し現在も活動を続けています。仕

HELL OF FIVE  
FIREMAN

## けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### 委員会の開催

#### 土地改良委員会

##### 技術検討部会の開催

平成29年度の第2回土地改良委員会技術検討部会（部会長 小柳 誠）が1月30日（火）午前11時から石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長他12名の幹事が出席のもと開催された。

最初に、小柳部会長より開会挨拶の後、事務局より「県農林水産部との意見交換会」と「土地改良委員会全体会議」の二つの議題について提案、審議された。

「県農林水産部との意見交換会」については、2月20日（火）

午前10時30分から金沢ニューグランドホテル「銀扇の間」で、県農林水産部より北出一郎県農林水産部技術管理室長ほか3名の幹部の出席のもと開催したい旨の提案がされた。

この意見交換会での要望事項は、昨年末に実施した土地改良委員会役員による要望活動内容を踏まえ、技術検討部会幹事から寄せられた施工実態に応じた仮設や積算、変更対応などの要望などについて審議し、意見交換会での具体的な要望内容を意見集約した。

また、「土地改良委員会全体会議」については、3月20日（火）午前10時30分からANAホリディ・イン金沢スカイホテルにおいて、県農林水産部次長（農業土木担当）ほか2名の幹部の出席のもと、事業報告や講演会などを開催したい旨の報告があり、土地改良委員会会員92社の参加を募ることとした。

最後に、土地改良事業関係の予算については、国の平成29年度補正予算を反映した県の補正予算と国における平成30年度当初予算の概算決定についての報告がなされ閉会した。



#### 広報・研修委員会

##### 企画部会の開催

本年初となる企画部会（部会長 高田直人）は、1月15日（月）午後5時から同日実施の（一社）石川県建設業協会及び石川県総合建設業協同組合の新年会の開催に合わせ、金沢市の金沢東急ホテル会議室において開催された。

冒頭高田部会長が新年を迎え取り組むべき課題等について挨拶を行った後、次の議題について審議報告がなされた。

- 1 協会報2月号について  
協会報2月号の編集計画の説明がなされ了承された。
- 2 協会報の表紙絵の更新について

平成25年2月から表紙絵として掲載してきた県内の遺跡や史跡を紹介する「遺跡史跡シリーズ」に変わり、本年2月号から「石川県の工芸シリーズ」とし、県内の著名な工芸作家の作品の紹介を行うこと



とし、その掲載方法等について検討が行われた。

### 3 研修所からのお知らせ

本年4月開催予定の新入社員研修についての概要説明がなされた。

## 環境・情報対策特別委員会

### 平成29年度建設物廃棄物の適正処理に係る講習会〈実務基礎編〉の開催について

上記講習会を下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。

日 時	平成30年3月16日(金) 13:00~16:30 (受付開始12:30)
場 所	石川県建設総合センター 7階大ホール
定 員	100名
受 講 料	無料
お申込み	申込書に必要事項を記載の上、3月9日(金)までに、講習会受付事務局(KCCアソシエイツ)へFAX(03-5549-2562)でお申し込みください。
申 込 書	(一社)石川県建設業協会 ホームページ(www.ishikenkyo.or.jp/)よりダウンロードください。

【お問い合わせ先】(一社)石川県建設業協会 TEL 076 242 1161 (担当:五天、坂本)

建設マニフェスト販売センター TEL 03 3523 1630 (担当:戸田)

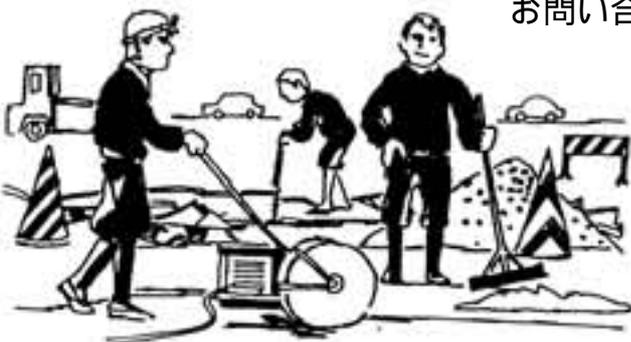
参加申込書の着信確認のお問い合わせ・キャンセル・ご参加者様の変更は(株)KCCアソシエイツ(TEL 03 5549 2561)までご連絡ください。

なお、会場駐車場の数に限りがありますので、お車の乗り合わせ又は公共機関のご利用をお願いいたします。

## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは.....



#### 石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

## 建設技術研修所

### 平成30年度 新入社員研修について

平成30年度の新入社員研修を東日本建設業保証(株)及び(一社)金沢建設業協会と共催で下記要領により実施いたします。本研修は、建設業界に新しく入られる社員を対象に、一日も早く社会生活のルールや仕事の基本を身につけ、企業の戦力として働くことができるよう経験豊かな講師により研修を行うものです。なお、陸上自衛隊金沢駐屯地のご協力を頂き、研修期間中に自衛隊の生活体験入隊(1泊2日)を実施することとしており、昨年度から女性の体験入隊も可能となっております。多数、受講されますようご案内申し上げます。

なお、受講者が10名に満たない場合は、中止する場合があります。

#### 記

#### 研修の対象者

- ・県協会員企業、地区協会員企業、一般建設企業の新入社員。
- ・過去に本研修を受講していない者。平成30年度以前入社の新入社員でも可。  
自衛隊の受け入れ枠が定められており、定員を超えた場合抽選となる場合があります。なお、外国籍の方は、自衛隊生活体験は対象外となります。

#### 日 時

【研 修】平成30年4月10日(火) 9時～16時(受付8時30分より)

研修内容：「建設フレッシュマンの心得(仮)」等

【自衛隊生活体験】平成30年4月11日(水)～12日(木)(1泊2日)

#### 場 所

【研 修】石川県建設総合センター 7階大ホール  
金沢市弥生2丁目1番23号 TEL:076-242-1161

【自衛隊生活体験】陸上自衛隊金沢駐屯地  
金沢市野田町1丁目8番地

#### 受 講 料

【研 修 の み】県協会員及び地区協会員 5,000円(教材代含む)

一 般 7,500円( " )

【研修と自衛隊生活体験】県 協 会 員 10,000円(教材、食事、宿泊代含む)

地区協会員 15,000円( " )

一 般 18,000円( " )

自衛隊生活体験のみの申込みはできません。

振込み先 石川県建設業協会技術研修所 北國銀行 泉支店 (普)2026

研修開催決定のご案内後、お振込みください。

#### 受講申込み

【研 修 の み】2月28日(水)まで

【研修と自衛隊生活体験】2月2日(金)まで

#### そ の 他

- ・研 修 の 持 参 品 筆記用具(昼食はこちらでご用意いたします。)
- ・自衛隊入隊時の持参品 作業着、トレーニングウェア、運動靴、腕時計等  
自衛隊生活体験参加時における保険加入については、県協会の負担とさせていただきます。なお、詳しい日程、持ち物等の詳細案内は、参加者に後日、改めてご連絡いたします。

#### 【お申込み・お問合せ先】

(一社)石川県建設業協会 担当:本多 TEL(076)242 1161 FAX(076)241 9258 E-mail honda@ishikenkyo.or.jp

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

平成29年度

## 「私たちの主張」応募作品佳作賞の紹介

佳作賞

### 「土木施工の未来について」

株式会社 豊蔵組 堀川 敬

私が土木工事の現場監督という職に就き、早3年が経った。土木の世界に足を踏み入れた理由は漠然としたものであった。せっかく工業高専の環境都市工学科（旧土木科）を卒業したんだから、という理由だけ。しかし今は、この仕事がとても【好き】で【楽しい】。

入社した当時、こんなにも過酷な仕事なのかと思った。元々色白だった私は、すぐに真っ黒になった。冬は手を震わせながら仕事をした。毎日、書類整理に追われ残業の日々。家に着くと、倒れこむように寝た。しかし、竣工した時の喜びや気持ち良さが、過酷さを上回った。土木は、「地図に残る仕事」と言われるが、実際に地図に載った。自分の造った道路を、走る。これまでの苦勞が良い思い出となった。土木の仕事が【好き】と、思えた理由。

それから、月日は流れ3年目の出来事が、国土交通省が発表した、i-Constructionの登場である。i-Constructionとは、生産性を向上させる事を目的とした新基準である。

私が配属された現場が、i-ConstructionのICT土工による盛土の対象現場だったのだ。従来の施工方法は、基準点を設置し現況横断をトータルステーション等で測定、それらを基に丁張を設置して、ようやく施工が始まる。施工中も、盛土が上がっていくにつれて丁張を設置していかなければならない。また、毎層ごとの写真や、品質管理も行っていく必要があった。入社した当時の現場では、毎日朝から作業が終わるまで丁張を掛けていた。

ICT土工を行うことは、弊社では初めての現場

だった。ICT土工に必要なソフトウェアも導入し、私は操作方法を学ぶため積極的に講習会に参加した。他にも、管理要領案が出ており、多くの知識をつけなければいけなかった。その中で一番重要だと感じたのが、脳を三次元化するということだ。このICT土工では、従来だと二次元で考えていたものでも、ほぼ全てを三次元で考える必要がある。この考え方を難なくイメージできるのが、今の若い年代の方たちだと思う。

実際に施工を行ったところ、たくさんのメリットがあった。重機のモニターで設計値を見ることができるようになり、丁張が必要なくなった。そのため、重機の乗り降りの際に発生する事故や、丁張設置員と重機の接触事故の防止につながり、安全性の向上となった。他にも工程の短縮や、出来形管理・日常管理についてもデータ化され書類の量も大幅に減った。丁張設置にかかっていた時間が、書類整理等の仕事ができるようになり、働き方改革にもつながった。

このように、たった3年の間でも、土木の世界は大幅に変わったと感じた。この凄まじいスピードの進歩と、三次元の考え方が、土木を、【楽しい】と思った理由。

i-Constructionが本格的に進み始めて間もなく、CIMへの取り組みが始まる。今後は、AIを用いて重機が動き、作業指示はパソコン上で行き、人を管理するのではなく、重機を管理する事となる。他にも、VR（仮想現実）や、AR（拡張現実）を用いて施工を行う時代が必ずやってくると思っている。

土木の世界は、【楽しみ】で溢れている。

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成29年分）

平成29年12月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	10	(11) 41	15	(11) 66	48	619
小松監督署	6	(5) 11	3	(5) 20	25	204
七尾監督署	6	(4) 6	8	(4) 20	23	133
穴水監督署	5	(5) 9	1	(5) 15	11	73
計	27	(25) 67	27	(25) 121	121	1,029
前年同期	26	(26) 67	14	(26) 107	107	900

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
10月分	193	479	40.3%	2,183	2,205	99.0%	2,376	2,684	88.5%
11月分	108	285	37.9%	1,210	2,891	41.9%	1,318	3,176	41.5%
12月分	92	404	22.8%	1,609	2,797	57.5%	1,701	3,201	53.1%
年度累計	3,345	3,863	86.6%	23,554	19,384	121.5%	26,899	23,247	115.7%
27年度累計		2,490	134.3%		22,751	103.5%		25,241	106.6%
26年度累計		3,343	100.1%		18,345	128.4%		21,688	124.0%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
10月分	4,857	4,223	115.0%	2,039	541	376.9%	6,896	4,764	144.8%
11月分	3,910	3,616	108.1%	5,219	192	2718.2%	9,129	3,808	239.7%
12月分	2,378	2,577	92.3%	3,337	414	806.0%	5,715	2,991	191.1%
年度累計	29,709	37,924	78.3%	16,980	10,769	157.7%	46,689	48,693	95.9%
27年度累計		32,937	90.2%		12,706	133.6%		45,643	102.3%
26年度累計		39,118	75.9%		15,814	107.4%		54,932	85.0%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%		29年度	28年度	%
10月分	9,272	7,448	124.5%	年度累計	73,588	71,940	102.3%
11月分	10,447	6,984	149.6%	27年度累計		70,884	103.8%
12月分	7,416	6,192	119.8%	26年度累計		76,620	96.0%

# 会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 平成30年2月行事予定

- 2月 1日(木) 北陸地方建設事業推進協議会(部会)  
(北陸地方整備局)  
事務担当者説明会
- 2日(金) 事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)  
事務担当者説明会 (加賀建設業協会)  
翠星高校意見交換会 (翠星高校)  
和の住まい推進リレーシンポジウム  
(金沢市民芸術村)  
暴力担当者責任者講習会 (県警本部)  
事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)
- 3日(土) 谷本正憲連合後援会事務所開き  
(連合後援会事務所)
- 4日(日) 西田昭二新春国政報告会 (和倉温泉あえの風)  
公明党新春政経懇話会 (ホテル日航金沢)
- 7日(水) 建築委員会 技術部会  
土木委員会金沢河川国道事務所との意見交換会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)  
中金会 懇談会・新春講演会(16:00)  
(ホテル日航金沢)
- 8日(木) ゆきみらい2018in 富山(～9日)  
(富山県民会館、富山県五福公園)  
広報・研修委員会 研修(～10日) (熊本)
- 9日(金) 雇用対策特別委員会
- 10日(土) 高校生富士教育訓練センター派遣事業(～17日)  
(富士教育訓練センター)
- 13日(火) 「北陸の建設技術」編集委員会  
(新潟市 新潟国道事務所)
- 14日(水) 会報編集委員会
- 15日(木) 谷本正憲建設業後援会事務所開き・会議  
建設生産システム合理化推進協議会
- 16日(金) 広報・研修委員会 企画部会  
全建 理事会 (東京 鉄鋼会館)  
「けんせつフェア」次回開催地決定にかかる会議  
(富山市 富山防災センター)  
建設産業人材確保・育成推進会議  
(東京 全日通電が関ビル)  
「建設技術報告会」実行委員会  
(富山市 防災センター)
- 20日(火) 建築委員会 能登地区安全パトロール  
(のとじま水族館)  
土地改良委員会 県農林水産部との意見交換会  
(金沢ニューグランドホテル)
- 21日(水) 第2回啓発実践推進委員会(社会保険労務士会)  
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会  
(北陸地方整備局)
- 22日(木) 情報共有体験学習 (小松工業高校(アイサス))
- 23日(金) JCM セミナーDVD 講習会  
(小松能美建設業協会)  
石川県交通安全推進協議会 (石川県庁)
- 26日(月) 事務局打合せ
- 27日(火) 東日本保証取締役会 (東京本社ビル)

- 27日(火) 情報共有体験学習  
(金沢市立工業高校(アイサス))
- 28日(水) 金沢港振興協会 第2回理事会  
(金沢ニューグランドホテル)

### 平成30年3月以降の行事予定

- 3月 2日(金) 石川県景観審議会 (石川県庁)
- 5日(月) 正副会長会議
- 7日(水) 全建 総合企画委員会 (東京 東京建設会館)
- 8日(木) 北陸3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会  
(新潟市 アートホテル新潟)
- 9日(金) 共同募金配布委員会 (社会福祉会館)
- 15日(木) 全建 理事会・協議委員会 (東京 経団連会館)
- 16日(金) 建設業振興基金参与会 (東京経団連会館)  
JCM セミナーDVD 講習会(七尾鹿島建設業協会)  
建設廃棄物の適正処理に係る講習会
- 23日(金) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 4月 3日(火) 正副会長会議  
常任理事会
- 10日(火) 新入社員研修開講式
- 23日(月) 東日本建設業保証 取締役会(東京 本社ビル)
- 25日(水) 全建 理事会
- 5月 7日(月) 正副会長会議
- 14日(月) 理事会 建災防・組合(11:30)・協会(12:30)
- 25日(金) 総会 建災防・組合(13:00)・協会(14:00)
- 30日(水) 全建 理事会(13:20)表彰式・総会(14:30)  
(東京 経団連会館)  
全建 70周年記念パーティー  
(東京 経団連会館)
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 2日(金) 国会議員の皆様方との懇談会
- 5日(月) 常任理事会
- 8日(木) 青年：情報発信セクション
- 9日(金) テレビ講座  
現場責任者研修会
- 13日(火) 救命講習
- 20日(火) 青年：技術防災セクション
- 21日(水) 青年：幹事会
- 27日(火) 企業経営者・後継者研修会  
青年：全体会

#### 《お知らせ》

- 3月 2日(金) 献血奉仕活動

### (一社)加賀建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 2日(金) 県協会主催 事務担当者説明会  
土木委員会 研修会

### (一社)小松能美建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 6日(火) 理事会  
建築委員会
- 21日(水) 建青会役員会

#### 《お知らせ》

- 3月 8日(木) 監理技術者講習

### (一社)白山野々市建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 1日(木) 事務担当者説明会
- 2日(金) 翠星高校生との意見交換会
- 20日(火) 理事会
- 21日(水) 監理技術者講習会

### 河北郡市土建協同組合

#### 《行事予定》

- 2月16日(金) 管理技術者講習会

### (一社)羽咋郡市建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月21日(水) 健康診断
- 27日(火) 役員会

#### 《お知らせ》

- 3月 8日(木) 監理技術者講習会  
中旬 役員会  
下旬 河川堤防・護岸の点検パトロール(予定)

### (一社)七尾鹿島建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 9日(金) 監理技術者講習会  
中旬 理事会
- 26日(月) 万葉マラソンクリーン作戦打合せ

#### 《お知らせ》

- 3月 4日(日) 万葉マラソンクリーン作戦
- 4月 4日(水) 監理技術者講習会

### (一社)鳳輪建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 8日(木) 正副会長会議・理事会
- 17日(土) 青年委員会定例会「新年会」
- 20日(火) 建築委員会 能登地区安全パトロール  
主催：県協会建築委員会

### (一社)珠洲建設業協会

#### 《行事予定》

- 2月 9日(金) 土木部会
- 13日(火) 理事会
- 22日(木) 建災防幹事会

